

第2次草津市環境基本計画達成目標進捗調査票

1. 環境学習社会づくり

No.	達成目標	指標	単位	担当課	目標値		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	目標値の達成または未達成理由	改善策および今後の課題	
					当初	改定													
1-1	市域において環境学習の機会が増える！ ※平成27年度の計画改訂時に達成目標を上記に変更しています。	環境学習および活動の企画・実施サポート件数	件	くさつエコスタイルプラザ	目標値	当初											150	市内の環境に関する情報発信等は引き続き努めているが、年度前半は新型コロナウイルス感染症の影響により、環境学習会の開催が減ったため、サポート件数が減少した。	今後も市民などが環境に関心を持ち、様々な環境学習が行えるよう、市ホームページやイベント等で環境学習情報を発信し、講師派遣や貸出教材の内容を充実させ、市民等が環境学習等に参加して学んだことを日々の生活等に生かせるよう取り組んでいく。 また、環境学習の充実を図るため、くさつエコスタイルプラザの運営事業等の一部を専門のNPO等が担えるよう推進する。
					改定														
					実績値				136	128	107	97	115	171			113		
1-2	環境学習に参画する市民が増える！	子ども環境会議参加団体数	団体	くさつエコスタイルプラザ	目標値	当初		61									65	新型コロナウイルス感染症の影響により、子ども環境会議を延期したが、環境学習の取組発表・交流として壁新聞の展示を行った。	新型コロナウイルス感染症拡大防止を踏まえ、今後も交流やつながりが深まるよう実行委員会において、開催方法の見直しや内容の充実を図るとともに、参加する事業者や団体等に呼びかけを行っていく。
					改定														
					実績値		56	60	60	50	61	53	57	55	64		0		

2. 低炭素社会への転換

No.	達成目標	指標	単位	担当課	目標値		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	目標値の達成または未達成理由	改善策および今後の課題	
					当初	改定													
2-1	地球温暖化対策に関する市民活動が活発である！	地球温暖化対策に取り組む市民の割合	%	くさつエコスタイルプラザ	目標値	当初		61.0									75.0	アンケートで「そう思う ややそう思う」と答えた市民の割合が38.3%である一方で、「どちらとも言えない」と答えた市民の割合が43.5%もあり、地球温暖化対策に対する理解や認識がまだ十分に浸透しておらず、行動につながっていないことが考えられる。	地球温暖化に関する情報発信や環境に関心を深めるイベント、啓発活動を継続・拡大するとともに、市民が日常生活のなかで脱炭素行動を自発的に選択できるようなナッジの普及拡大が必要である。
					改定														
					実績値		51.0	50.9	36.8	37.2	35.3	33.2	31.2	33.5	34.3		38.3		
2-2	地球温暖化対策に関する企業活動が活発である！	愛する地球のために約束する協定者数	者	くさつエコスタイルプラザ	目標値	当初		52									100	市主催のイベントやポスター作成・配布、エコスタイルプラザでの紹介等により、昨年度より若干締結者数を増やせたものの、協定者数の大幅な増加には至らなかった。	環境に配慮している企業や環境に関心のある団体、地域のまちづくり協議会、工場立地法要件緩和申請を検討中の企業などに対し新規加入を促す。
					改定														
					実績値		42	45	45	45	45	45	46	46	50		52		

3. 資源循環型社会の構築

No.	達成目標	指標	単位	担当課	目標値		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	目標値の達成または未達成理由	改善策および今後の課題	
					当初	改定													
3-1	家庭からでるごみの量が減る！	1人1日当たりの家庭系ごみ量(資源ごみ除く)	g/人・日	資源循環推進課	目標値	当初		436.9									434.9	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外出自粛等の影響により、各家庭から排出されるごみの量が増加したことが前年度から増加した主な理由である。	クリーンセンターへの市民の直接持ち込み量については、施設更新以来増加しているため、雑紙の分別周知やクリーンセンターへの直接持込に係る事前申請制度の導入等により、更なるごみの減量および排出抑制に取り組む。
					改定														
					実績値		456.0	445.0	443.0	438.9	434.9	426.8	427.0	439.2	451.4		463.3		
3-2	事業所からでるごみの量が減る！	1人1日当たりの事業系ごみ量	g/人・日	資源循環推進課	目標値	当初		337.5									306.4	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外出自粛等の影響により、市内の飲食店から排出される厨芥類等の事業系ごみ量が減少したことが主な理由と考えられる。	引き続き事業所に対するごみの分別徹底に加え、古紙の持込を抑えるため、古紙類のリサイクルルートへの誘導など、資源化に向けた取組を進める。
					改定														
					実績値		313.0	308.0	311.0	295.6	283.0	277.9	280.7	283.4	274.7		245.3		

第2次草津市環境基本計画達成目標進捗調査票

4. 自然とともに生活する環境づくり

No.	達成目標	指標	単位	担当課	目標値		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	目標値の達成または未達成理由	改善策および今後の課題	
					当初	改定													
4-1	多種多様な生物が生息する空間が増える！	自然環境保全地区	地区	環境政策課	当初			17									18	新たな保全地区の指定に向けて、指定要件を満たす候補地の掘り起こしに取り組んだが、指定までに至らなかった。	自然環境保全地区や保護樹木の周知を行い、市民の身近な自然への興味関心を醸成するとともに、令和3年度に実施する自然環境保全地区危険木調査の結果をもとに行う危険木除去に要する経費への補助をはじめ、自然環境保全地区への助成、保護樹木の健康診断や補助金交付を行い、市域の良好な自然環境の保全に努める。
					改定										17				
					実績値		16	16	16	16	16	16	16	16	16	17	17		
4-2	市内農業・農業者と交流を持つ市民が増える！	農業体験に参加した人の数	人【延べ】	農林水産課	当初			1,940									2,250	3年前に比べ①「たんぼのこ体験事業」の小学校参加児童数②JA貸し農園の入園者が減少したことが主な要因。	「たんぼのこ体験事業」については、より多くの児童が農業体験できるように、引き続き小学校へ支援をしていく。貸し農園については関係機関と連携し、参加促進を図っていく。
					改定										1,850		2,000		
					実績値		1,782	1,776	1,727	1,807	1,805	1,768	1,885	1,681	1,686	1,747			

5. 環境汚染・公害への適切な対策

No.	達成目標	指標	単位	担当課	目標値		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	目標値の達成または未達成理由	改善策および今後の課題	
					当初	改定													
5-1	環境基準が常に達成されている！	環境管理基準(BOD)の達成状況	達成回数／測定回数	環境政策課	当初			24/24									24/24	令和元年度より達成回数は増加しているものの目標未達となった。狼川流域の工場排水調査を実施し原因特定を目指したが、原因特定には至らなかった。	河川監視の強化、規制対象の事業所の排水調査に努めるとともに、規制対象外の事業所に対しても啓発等を行っていく必要がある。また、特異な状況が確認された際には、随時原因を調査し、流域の事業所指導を継続していく必要がある。
					改定										24/24				
					実績値		21/24	20/24	24/24	23/24	24/24	22/24	23/24	19/24	17/24	18/24			
5-2	市内の水洗化が向上する！	水洗化率(処理区域内水洗化人口／処理区域内人口)	%	上下水道施設課	当初			95.0									97.2	下水道整備の概成により、宅地開発がさらに進み、新築、改築物件については、ほぼ全数の下水道接続が実現されているため。	下水道が未整備である地域の人口(未整備人口)よりも供用開始済み地域の人口(未水洗化人口)のほうが多くなっており、既存建築物での下水道への接続替えが進んでいない状況である。下水道の接続替えを進めるためにも実態に即した指導啓発が必要である。
					改定										96.1		96.0		
					実績値		95.0	95.0	95.2	96.1	96.6	96.7	97.0	97.8	97.9	98.4			

6. うるおい豊かな環境づくり

No.	達成目標	指標	単位	担当課	目標値		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	目標値の達成または未達成理由	改善策および今後の課題	
					当初	改定													
6-1	市民が利用できる公園・緑地が増える！	公園・緑地面積	ha	公園緑地課	当初			64.7									95.0	公園・緑地の面積は、年々増加傾向にあるが、目標達成に至らなかった。未達成理由としては、野路公園整備事業の遅れ等が要因として考えられる。なお、市民1人あたりの面積としては、「第2次草津市みどりの基本計画」の目標値は達成できた。	令和3年度に「第3次草津市みどりの基本計画」を策定する予定をしており、市民ニーズ等を踏まえ、持続可能な公園の在り方について検討していく。
					改定										85.0				
					実績値		67.4	67.7	68.2	75.9	79.1	88.6	88.9	90.9	91.3	91.4			
6-2	誰もが快適で心地よいと感じる場所が増える！	市内および居住地周辺の景観に好感が持てると感じる市民の割合	%	都市計画課	当初			31.0									45.0	目標値は達していないが、年々景観に好感が持てると感じる市民の割合は増加している。重点地区の指定による歴史的まちなみの景観形成の推進や、大津市との景観連携施策(湖岸の視点場啓発・東海道統一案内看板設置他)などの眺望景観、歴史景観の保全・活用への取り組みが評価されたと考えられる。	重点地区の無電柱化実施に向けた検討を進めるとともに、湖岸の視点場のPRや東海道統一案内看板の普及に向けて市民等に啓発していくことが重要になってくる。また、大津市と草津市で策定した両市共通の景観基本計画を草津市の景観計画へ反映を進めていく必要がある。
					改定										38.0				
					実績値		33.4	26.3	32.1	32.6	32.3	33.7	32.5	36.0	36.9	37.7			